



かがわ看護だより



平成29年9月30日現在 会員数
7,137名

- 保健師 201名
- 助産師 264名
- 看護師 6,456名
- 准看護師 216名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4
 TEL: 087-864-9070 FAX: 087-864-9071
<http://kagawa-kango.com>
 発行責任者/中村 明美

第48回
日本看護学会
 —看護教育—
学術集会

**環境変化に
 対応する看護教育**
 ~人材の能力を見極め引き出す~

会場・日程
サンポートホール高松
かがわ国際会議場
 香川県高松市サンポート2-1

2017
8/3木・**4**金

学会ポスター

《目次》

第48回日本看護学会—看護教育—学術集会	2
香川県で地区別法人会員会開催!!	6
平成29年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ開催	6
職能委員会活動報告	7
ふれあい看護体験	8
連載 がんばれナース第12回	9
平成30年度改選役員及び推薦委員、平成31年度日本看護協会 代議員・予備代議員の立候補並びに推薦について	9
理事会報告・お知らせ	10



～環境下変化に対応する看護教

日本看護学会－看護教育－学術集会へのご協力に感謝

学術集会 会長 中村 明美

学会準備委員の皆様、2年間にわたっての学術集会の準備に心から感謝いたします。

メインテーマの決定、テーマに沿ってのプログラム構成に、参加者は大きな関心と期待を持って参加され、期待以上の新たな知見を得、感動とともに看護への意欲や希望を得たことを確信しております。『人間を救うのは人間だ』の言葉を反芻しつつ、看護基礎教育や実践現場の教育に取り組まれていることと存じます。

当日の運営は県下の多くの施設からご協力を頂きました。マニュアル以上の役割遂行と連携は見事で、看護の実践現場を垣間見る思いでした。ありがとうございました。

最後になりましたが、学会長 福井トシ子様、担当理事 川本利恵子様はじめ学会担当の皆さまの準備から当日運営までの丁寧なご指導に深く感謝申し上げます。



第48回 日本看護学会－看護教育－学術集会を終えて

学会準備委員会 委員長 平木 民子

8月3日と4日の2日間に、「第48回日本看護学会－看護教育－学術集会」がサンポートホール高松にて開催されました。天候にも恵まれ、2日間延約3,600名という予想以上の多くの方々に参加頂き、関係者の方々のご尽力により盛況を収めることができました。今回のメインテーマ「環境変化に対応する看護教育～人材の能力を見極め引き出す～」が、現場の看護教育に関わる人たちの興味関心を喚起したのではないかと認識しております。

準備委員は、約2年間にわたり日本看護協会学会担当者との綿密な打ち合わせを重ねながら「プログラム企画」「演題募集・抄録査読」「当日実行計画」等の企画運営をしてまいりました。メインテーマを検討する際、3年前から学会専門領域が10領域から7領域に改変され、「人材育成・キャリア開発」が看護管理から看護教育に移った点を念頭に置き、最近の看護職員の特性が多様に変化して従来の教育方法が通用しなくなったという問題に着目しました。そのような経緯で、特別講演「脳科学の観点から学習支援を考える～発達特性を学び個性を見極める～」と、教育講演「多様な背景をもつ看護職員に対する教育支援」が決定しました。講演を聴いた参加者からは、“学習支援の見方考え方を変えたい”“現場での解決策に活かしたい”という前向きな反応を得ることができました。また、シンポジウムⅠ「環境変化に対応する看護師基礎教育4年制への改革」、シンポジウムⅡ「看護実践能力評価に活かす『看護師のクリニカルラダー』」、交流集会「地域連携推進に向けた看護の人材育成」の3つの企画も地域包括ケアシステム推進に関連した内容であり、参加者は多くの刺激やヒントを受けたようです。研究発表会場も活発な情報交換や議論が展開されていました。

この学会を契機に、今後ますます看護教育の実践と研究が成長発展することを期待します。また、学会当日の協力員の方々のホスピタリティあふれる対応と的確な判断行動によって大変スムーズな運用ができましたことを心より感謝いたします。

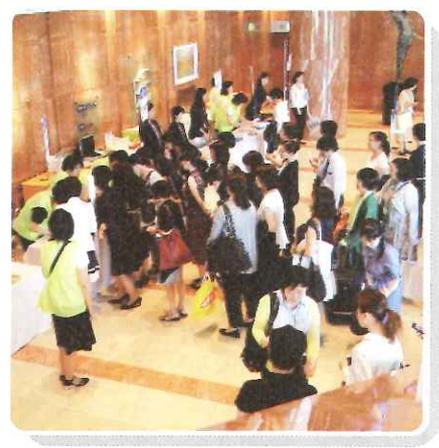


－看護教育－学術集会

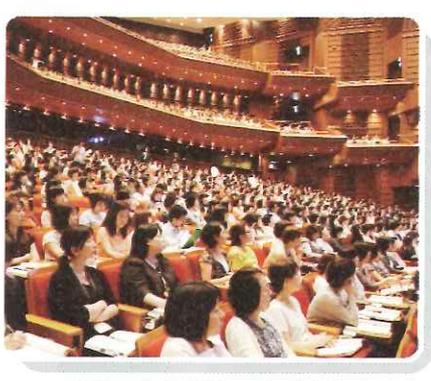
育人材の能力を見極め引き出す～



－ 開会式 －



－ 受付 －



－ びっしり埋まった客席 －



－ 示説発表 －



－ 口演満席 －



－ 入れずロビーで聴講 －



－ シンポジウムⅠ「環境変化に対応する看護師基礎教育4年制への改革」－



－ シンポジウムⅡ「看護実践能力評価に活かす『看護師の臨床カルダラ』」－



【特別講演】

徳島赤十字ひのみね総合療育センター顧問

橋本 俊顯先生

脳科学の観点から学習支援を考える

～発達特性を学び個性を見極める～

近年、要因は明らかではないが発達障害の有病率の増加が見られており、知的レベルは高いが社会的能力が未熟であり、周りを巻き込み問題をおこしやすいといわれている自閉症スペクトラム障害（ASD）について話されました。この障害は注意された事を怒られていると受けとってしまうなど、周囲の理解が得にくいことが多く、障害特性による困難から多大な生きづらさを抱えていること、過度な不安・ストレスといった適応困難から二次障害をひき起こしてくることも多いが、基本的には対症療法が主流であり、説明するときも視覚的な情報提示をし、説得ではなく納得でき自己決定できるようにするなど、基本的な対応、支援などについて話されました。

広報出版委員 玉岡富美子



【参加者の声】

和歌山赤十字看護専門学校 野手千津子

瀬戸大橋を渡るとき、キラキラ光る穏やかな瀬戸内の海や島々に迎えられ、すてきな景色に、学会参加への期待も高まりながら会場に到着しました。

特別講演の「脳科学の観点から学習支援を考える」では会場の大ホールが満席状態であり、関心の高さが伺えました。シンポジウムや演題の発表を聞き、今学会のテーマでもあるように社会の変化に合わせた看護教育の変革の必要性をひしひしと感じました。そして、社会に求められる看護師育成に多くの施設が試行錯誤をしながら取り組みがなされていることを知り、教育に携わる者として身が引き締まる思いになりました。終了後、「高松城跡のお堀の大きな鯛」も見ることができました。

医療法人倚山会田岡病院看護部長 折村 秀美

看護教育において、多様な価値観を見極め能力を活用する事は大きな課題だと実感しました。日頃、看護の現場ではあらゆる実践を通して教育は展開されています。看護基礎教育の見直しが進み、看護専門職に求められる役割は更に拡大する事を示唆されました。各病院での取り組みは進歩ある事例ばかりで、良い刺激を得られる実りある学会でした。

三豊総合病院 守谷 正美

第48回日本看護学会—看護教育—学術集会に参加しました。

特別講演、教育講演では学習者の多様性に対する教育の在り方、シンポジウムでは時代の変化に対応できる看護師育成としての看護基礎教育4年制や在宅看護、地域連携における看護師人材育成など今後取り組むべき課題が示されました。少子超高齢化が進む中で、求められる人材をいかに教育していくかを様々な視点から学ぶことが出来ました。

第48回 日本看護学会—看護教育—学術集会

環境変化に対応する看護教育 ~人材の能力を見極め引き出す~

第48回 日本看護学会—看護教育—学術集会

環境変化に
対応する看護教育
~人材の能力を見極め引き出す~

学術集会会長/中村明美(香川県看護協会 会長)

「人材の能力を見極め引き出す」
~多様な背景をもつ看護職員に対する教育支援~
平木 民子
佐々木 護美



【協力員の声】

香川県立中央病院 西尾たまも

初めて協力員として学会に参加し、私は参加者の荷物を預かるクロークのリーダーを任されました。看護学生・教員・先輩看護師達の力を借りて、大きなトラブルなく2日間を乗り切ることができました。運営ノウハウも分からない私がリーダーという大役を果たせたのは、皆さんの笑顔とチームワークのおかげです。この学会で香川の看護師の底力を見て、私は「香川の看護界の未来は明るい」と確信しました。



— 受付協力員 —

さぬき市民病院 岡 業美子

私は、協力員として参加させて頂きました。担当は、示説会場の記録係で、演題数は2日間で153題の演題が投稿されていました。

当日の簡単な打ち合わせで、会場の設営、演者の確認、掲示物の内容に問題が無いか、来場者数等をリーダーの指示のもと、与えられた役割を肅々と他の協力員の方々と共に対応致しました。臨床現場から学校に至る看護職の方が、自信を持って発表され演者の方からは「どうぞ私に質問してください」というような雰囲気を感じられ印象的でした。

全国からお越し頂いた参加者の方に、香川県の思い出が深く心に刻まれている事を信じています。

8月3・4日の両日併せて3,644名の参加がありました。

広報担当協力員として参加し、カメラを片手に各会場を回りました。それぞれの担当部署でスタッフ一人ひとりが、全国からお越し下さった参加者の方々に、おもてなしの心をもって対応されていました。2日間とも晴天に恵まれ、会場から見渡せる海を見て、感動されている参加者もいました。今回の学会で得られた成果を、参加者・スタッフともに持ち帰ることができたのではないかと思います。

広報出版委員会



— お疲れ様でした —

香川県で地区別法人会員会開催!!

日本看護協会主催の「2017年度地区別法人会員会（中国・四国地区）」が香川県高松市内で10月2・3日開催された。

1日目の地区別法人会の主な議題は①「認定看護師制度の再構築」②「准看護師制度の業務範囲に対する課題対応について」③「地域における看護政策力強化について」④「新会員情報管理体制」について、本会役員と中四国地区県看護協会の役員が意見交換会を行った。

①の主な内容は2020年度に特定行為研修を組み込んだ新たな認定看護師教育を検討。

②は、具体的な取り組み（案）として、名札等での資格名の明示の徹底、看護職への周知・教育、准看護師の基礎教育に「在宅看護」追加の必要性等について議論された。

③は、地域医療介護総合確保基金の交付状況等について報告があった。

④は、日本看護協会 井伊専務理事から移行期作業の進捗状況と会費の納入状況の報告があり、香川県の場合は、納入済み7,132人、請求済み7,248人（28年度会員数7,126人）であった。

研修会では「香川県地域医療構想の実現に向けて看護協会に期待すること」をテーマに香川県健康福祉部 医務国保課 副課長 東 善博 様からの講演があり、多くのデータから現状を知り、地域における高齢化に伴い質の高い医療の確保、医療提供体制の整備の必要性を理解することができた。

2日目は、中国・四国地区法人会員連絡会では、①看護基礎教育4年制について②准看護師制度について③会員増への取り組みについて意見交換や情報共有がなされた。

専務理事 野上 典子



平成29年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ開催



看護職が生き生きと働き続けられる職場づくりの推進と労働環境改善を目的としたワークショップを、9月6日（水）に開催しました。平成29年度は新たに医療法人社団新進会おさか脳神経外科病院が参加し、取り組み2年目の香川県立丸亀病院、かがわ総合リハビリテーションセンター、さぬき市民病院の3施設を含めて4施設が参加しました。

香川県看護協会 中村会長からは「若い人が意見を言え、スタッフが一緒にやって行こうと思える組織にしていきたいと思います」と強いエールがありました。また、看護職の支援者のみならず、香川労働局雇用環境・均等室「働き方・休み改善コンサルタント」東祐太郎様、香川県医務国保課副主幹 大平明美様からのご助言もいただき、熱い論議

を行い最後にその成果を発表しました。参加者の勤務環境改善への熱い思いを実感した1日でした。今後はアクションプランに沿って勤務環境改善に取り組み、5ヶ月後のフォローアップで成果を報告することになっています。

少子高齢化社会を迎えた日本は、働き方を変えるワーク・ライフ・マネジメントが一人ひとりの課題となっています。

ワークショップに参加している施設だけでなく、看護職が生き生き働き続けられる職場づくりの推進に取り組み、県下の看護職が専門職として責務を果たせるよう支援するとともに、ワーク・ライフ・バランスの意義が皆さまに理解され、広がっていくことを願っています。



専務理事 野上 典子

保健師職能委員会

委員長 田中 邦代

日本看護協会からの受託事業「子育て世代包括ケアシステム推進モデル事業」を、小豆地域をモデル地域に、妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援と連携のあり方をテーマに取り組むことになりました。昨年度モデル事業で課題となった「継続看護連絡票」についても実態調査を予定しています。調査へのご協力をお願いします。

また、保健指導ミーティングも内容を充実させながら、今年度も10月28日のファシリテーター研修から事業が始まります。皆様のご参加をお待ちしています。



— 小豆島中央病院にてモデル事業検討会の様子 —

助産師職能委員会

委員長 野口 純子

香川県委託事業である新人助産師研修は、7年目となりました。今年度の研修は、県内7施設から14名の新人助産師が参加しています。第1回目は、8月20日に開催しました。「目指す助産師像」では、5年後の自身の助産師像と合わせて自己の目標が明確になりました。1施設に1～2名の新人助産師という施設が殆どですので、新人同士の交流の場にもなればと思います。

“ひよっこ助産師頑張れ!!” 成長をあたたく見守りたいと思います。



— 第1回新人助産師研修の様子 —

看護師職能委員会 I

病院領域

委員長 白井眞奈美

以前、日本看護協会看護師職能委員会を実施した調査では、看護師が現場で活躍するためには看護師長の役割が重要であるという結果が出ました。看護師長の育成、教育・支援に焦点を当て、県内病院の事例発表や交流会を計画し、施設の課題解決に向けて取り組んで頂きたいと考えています。また、チーム医療や他職種との役割分担が推進される中で、多職種との連携や協働のあり方について調査し、問題点・課題抽出を行う予定です。皆様のご協力、よろしく願いいたします。

看護師職能委員会 II

介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長 井上 香里

看護師職能委員会 II では、本人・家族の意思決定支援及び安らかな最期を迎えるための支援方法を学び、終末期や看取りケアの質向上を図ることを目的に11月9日(木)・12月14日(木)に「在宅および介護施設等における看取りケア研修」を開催します。著名な先生方にご講演いただくほか、昨年度みなさまのご協力により完成した冊子「介護施設における看取りガイドライン」を配布させていただき、グループワークも行いますので多数のご参加お待ちしております。

平成29年度

ふれあい看護体験

かがわ総合リハビリテーションセンター

畝木 美保、西村 かをる



今年も元気いっぱいな高校生7名の方とふれあい看護体験を行いました。少し緊張している様子でしたが、白衣に更衣後、バイタル測定、手術室・リハビリ室の見学、車椅子乗車・移乗動作等の体験をしていただきました。当院では「患者様体験型」を実施しており「車椅子に乗っている時、少しスピードが速いだけでも怖いことを実感した。看護師さんの声かけで安心できることを知った。患者様の気持ちが良く

わかった。これからの看護師への学習に役立てたい」との感想をいただきました。また、参加者全員が将来看護職を志望していると知り、その理由を聞かせていただいたところ「近親者の療養場面に遭遇し、そこで出会った看護師の姿に勇気づけられた。自分もそうなりたと思った」といった意見が多く聞かれました。普段の私たちの姿勢が、将来を担う人材に深く影響していることを実感しました。今後も多くの方々に看護職の魅力をお伝えできるよう取り組んでいきたいと思ひます。



三豊市立永康病院

松田 里枝



夏休みを利用して8月17日に「ふれあい看護体験」を開催し、中学・高校生12名が参加しました。「病院で働く人の仕事を理解する」をテーマに、看護体験だけでなく他職種の見学・体験も盛り込みました。グループに分かれて放射線科、薬剤科、リハビリテーション科を回り、画像診断（骨折の見方）の講義、インスリンデモ機の自己注射、パラフィン浴の物理療法などの体験をしました。病棟では、手浴、コミュニケーション、血圧

などのバイタル測定、車椅子体験をし、学生さん達はどれも初めての経験で目を輝かせながら指導者の話を聞いていました。看護体験の振り返りでは、「コミュニケーションの難しさ」「看護の大変さ」を知る反面、患者さまからの「ありがとう」「気持ちいい」の言葉に、仕事のやりがいや楽しさ、また人とふれあう喜びを感じたようです。今後も看護職の魅力を伝えるような企画を行い、将来看護師をめざす方が増えることを願っています。



キラキラナース紹介

Go for it

香川大学医学部附属病院 廣澤みさき

私は香川大学看護学科を卒業し、憧れであった大学病院の小児科病棟で勤務しています。先輩方の看護に向き合う姿勢、患者さんとの関わりの中で毎日充実した日々を過ごしています。無我夢中で仕事に取り組む中で、自分はどうしてできないのだろうか、技術が上達できるのか等、不安な毎日ですが、常に先輩方の温かいサポートがあり頑張っています。先日もストレスマネジメント研修で地域包括ケアシステムを学び、同期の仲間と「うどん学校」で同じ釜のうどんを食べ金毘羅宮を参拝しました。同じ悩みを抱える仲間と絆を深める貴重な時間となり新たな目標に向かって頑張ることを誓いました。素敵な先輩方や仲間と出会い、一緒に働くことができ、本当に大学病院に就職して良かったと思っています。これからも目標に向かって前進していきます！



パステルアート

高松平和病院 二宮 信子

昨年の今頃、ネットサーフィンしていた時、たどり着いたブログ。

パステルアートのインストラクターの方のブログでした。そこに載せられていた、パステルアート（パステル画とは違うんですよ）のふんわりした色彩に引かれ、たまたまそのインストラクターの方のアトリエが家の近くであったこともあり、「誰でも、簡単に描けますよ」の言葉を信じて、準インストラクターの講座を受講しました。



絵心なんて全くない私ですが、不思議なことにひとつの作品になるんですよ。何とかなるもんですね。娘が額に入れて季節に合わせていろいろ飾ってくれています。最初は休みの日に趣味として描いていたのですが、そんなある日、仕事に生かせないかと思い、パステルアートを描いた用紙を、グリーンケアの一環としてご遺族にさしあげるお手紙の便箋として使っています。少しでもぬくもりを感じていただけたらと思っています。

平成30年度改選役員および推薦委員、平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員 立候補並びに推薦について

選挙管理委員会・推薦委員会からのお知らせ

平成30年6月17日（日）に開催される定時総会において、平成30年度改選役員および推薦委員、平成31年度日本看護協会代議員・予備代議員の選挙を実施します。立候補並びに推薦の受付期間などについてお知らせします。なお、役員辞任に伴う追加公示はホームページで行います。

■改選人数と役職名

1. 役員 8名 副会長候補者1名 常任理事候補者1名 職能理事候補者1名（助産師）
地区支部理事候補者4名（第2、第3、第4、第7支部） 監事候補1名
2. 推薦委員 3名
3. 代議員 7名（保健師1名、助産師1名、看護師4名、准看護師1名）
4. 予備代議員 10名（保健師2名、助産師2名、看護師4名、准看護師2名）

■受付期間など

立候補される方は、会員10名以上の推薦（定款細則第17条1項）を受けて、届出用紙を選挙管理委員長あてに推薦を行う場合は、所定の用紙に記入のうえ推薦委員長あてに届け出てください（郵送可）。

届出用紙は香川県看護協会にお問い合わせください。

[送付先] 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会選挙管理委員長または推薦委員長宛（親展）

[提出締切日] 平成29年12月20日（水） *当日消印有効

理事会報告

第3回 平成29年8月26日(土) 9:00~11:50

協議事項

1. 平成29年度第1四半期会計報告(案)、監査報告(承認)
2. 会社役員賠償責任保険契約更新(案)(承認)
3. 会費などに関する規則の一部改正(案)(承認)
4. 入会及び退会に関する規則の一部改正(案)(承認)
5. かがわ縁結び支援センター(EN-MUSU-かがわ)協力団体として登録(案)(承認)
6. 居宅介護支援事業所こくぶの開設(案)(承認)

第4回 平成29年10月7日(土) 9:00~11:50

協議事項

1. 平成30年度年間行事予定(案)(承認)
2. 平成29年度事業報告(案)(承認)
3. 香川県看護学会テーマ等(案)(承認)

お知らせ

1 研修会のご案内

◆新人看護職員研修「施設における研修責任者の集い」の内容がまじりました。

- 1) 日時: 平成29年11月11日(土) 10:30~16:30
- 2) 講師: 東京外国語大学 非常勤講師 市瀬 博基
- 3) 内容:

①「自ら考え、行動し、助け合う組織をつくるためのポジティブマネジメント」

- (1) ポジティブマネジメントとは
- (2) 取り組みのステップ
- (3) ポジティブマネジメントの手法

AI(対話を通じて組織の潜在力を引き出す手法)
・質問会議・ワールドカフェ

②情報交換等

- 4) 受講対象: 研修責任者 各施設1名
- 5) 申込方法: 所定の申込用紙(ホームページからダウンロード)に必要な事項を記入し、香川県看護協会に申込期間内に提出する。
- 6) 受講料金 無料
駐車料金 香川県看護協会会員 1日300円
非会員 1日600円
*駐車料金は、当日集金します。
- 7) 申込期間: 平成29年10月21日(土)~10月28日(土)
- 8) お問い合わせ先:
香川県看護協会事務局 教育担当 TEL:087-864-9070

2 研修日変更のお知らせ

台風18号のため延期となっておりました「子どもの心のケア・虐待予防」研修は、平成30年2月10日(土)に実施いたします。

内容・時間等の変更はありません。

お問い合わせ先:

香川県看護協会事務局 教育担当 TEL:087-864-9070

3 「カリウム製剤投与間違い撲滅キャンペーン」について

様々な対策が講じられて来たにもかかわらず、カリウム製剤事故がなくなりません。この度日本薬剤師協会と協働で撲滅キャンペーンに取り組みます。各医療機関において組織的な取り組みをお願いします。

緊急宣言
日本看護協会は
カリウム製剤投与間違いの
撲滅に取り組みます

公認社団法人香川県看護協会は
カリウム製剤投与間違い撲滅キャンペーン
撲滅に取り組みます

リスクを見出し、
行動をはじめましょう。

4 各施設看護代表者の皆さまへ

メールでタイムリーに情報を発信しています。メールアドレスをお知らせください。

5 30年度の入会手続きがはじまります。

全国平均並の入会数を目指して入会のお願いをしています。よろしくお祈りします。

6 ナースCafé—Caféキャリアレインボーのお知らせ

【第2回】対象: 就業中の看護職

日時: 平成29年11月18日(土) 14:00~16:00

【第3回】対象: 入職1年目の看護職

日時: 平成29年12月3日(日) 12:30~15:00

★サンポート新鮮らくご会の方をお招きします。

※いずれも香川県看護協会看護研修センターで開催します。
参加希望の方は、前日までにお電話(087-864-9075)をお願いします。

編集後記

過ごしやすい季節がやってきました。今年もあと2か月余り…。4月からのさまざまな行事も落ち着き、新しいメンバーも職場に馴染めてきてホッとしている方も多いと思います。

さて、次回のかがわ看護だよりは創刊100号の記念号になります。今後も多くの皆様に見て頂けるように広報出版委員一同頑張っていきます。

